

受験番号

第一問題 (小計20点)

問3	問2	問1	
		(3)	(1)
A	C	E	ア
			ぜんしん
	E	イ	
		ひより	
B	(2)		
	ア		
C	名義		
	イ		
真摯			

各2点
×10問

第二問題 (小計25点)

問4	問3	問2				問1
		(1)	(2)	(3)	(4)	
C 4点	そ し て	と	多	は	す	E
		い	く	日	べ	
	美 の	う	す	常	て	(2)
		こ	る	生	工	
3 点	の	と	も	活	芸	A
		に	の	の	性	
	疑	で	な	を	(3)	
		問	あ	か		有
を	る	で	し	生	活	
	感	の	、	て		
70	じ	で	「	お	上	の
		、	美	り		
か	工	「	、	必	要	
		に	ま	性		
ら	芸	が	接	た	(4)	
		美	す	、		
6 点	術	る	「	B		
		の	機		工	
の	下	会	芸	を		
		と	を		「	
80	と	を	「	各3点 ×4問		

	整理 番号

(この欄は記入しないこと)

第三問題 (小計20点)

問6				問5	問4	問3	問2	問1
う	の	夫	回	E 2点	父 親 の	E 2点	イ	C 2点
の	だ	を	復				耳	
を	と	気	が					
避	夫	遣	難		所		ウ	
け	と	う	し		に			
る	の	と	い		行			
た	会	と	と		っ		目	
め	話	も	自		て			
。	か	に	分		は		各2点	
70	ら	、	で		い			
6点	気	娘	分		け			
	付	が	か		な			
	き	、	っ		い			
	、	父	て		と			
	傷	親	い		い			
	つ	の	る		う			
	い	死	で		こ			
	て	が	あ		と			
	し	近	ろ		4点			
80	ま	い	う					

受験番号

整理番号

(この欄は記入しないこと)

受験番号

第四問題 (小計20点)

問7	問6	問5	問4	問3	問2	問1	
い	d	D	A	生き返らせる方法がわからないので 4点	C	E	
5点	2点	2点	3点		2点	2点	
使							
い							
方							
を							
間							
違							
わ							
な							
い							
よ							
う							
に							
し							
な							
け							
15	れ						
ば							
な							
ら							
な							

整理番号	

(この欄は記入しないこと)

第五問題 (小計15点)

問2			問1		
			(3)	(2)	(1)
た	を	宝	A 2点	使 _三 人問 _二 其故 _一 曰 _二 2点	C 2点
た	し	玉			
め	た	を			
。	か	石	(4)		
6点	の	と	私は足を斬られたのが悲しいではありません。 3点		
	よ	言			
	う	わ			
	に	れ			
	み	、			
50	な	信			
30	さ	念			
	れ	を			
	た	貫			
	こ	い			
	と	た			
	が	自			
	悲	分			
	し	が			
	か	詐			
	つ	欺			

受験番号

整理番号

令和九年度 公立学校教員採用候補者選考試験問題

国語

1 / 10 枚中

注意 答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。句読点は字数に含む。

第一問題 各問に答えよ。

問1 次の漢字に関する問に答えよ。

(1) 次のア、イの傍線部の漢字の読みをひらがなで答えよ。

- ア 漸進的に改良する。
イ いい日和ですね。

(2) 次のア、イの傍線部のカタカナを漢字(楷書)で記せ。

- ア メイギを息子に書き換える。
イ シンシな態度で接する。

(3) 漢字と部首の組合せが正しいものをA～Eから一つ選び、記号で答えよ。

- A 店ーがんだれ
B 微ーあくび
C 欺ーぼくによう
D 募ーくさかんむり
E 願ーおおが

問2 次の語句に関する問に答えよ。

(1) 「去就」と構成(組み立て)が同じものをA～Eから一つ選び、記号で答えよ。

- A 握手 B 犠牲 C 巧拙 D 媒介 E 非凡

(2) 敬語の使い方として正しいものをA～Eから一つ選び、記号で答えよ。

- A ご利用の際は手すりにおつかまりしてください。
B どうぞあなたも料理をいただいでください。
C 休日はどのようにお過ごしになりましたか。
D その件は直接担当者にうかがってください。
E 当店ではこちらの品をおすすめしております。

(3) ことわざとその意味の組合せとして適当でないものをA～Eから一つ選び、記号で答えよ。

- A 鳥なき里のこうもりー優れた人のいない所は、つまらぬ者がいっぱいっていること。
B 判官びいきー力ある者、権力者に取り入ろうとすること。
C 後生畏るべしー若者はさまざま可能性を秘めているのだから畏敬すべきであるということ。
D 獅子身中の虫ー内部にいて恩恵に浴しながら災いをもたらす者や恩を仇で返す者のたとえ。
E 肝胆相照らすー互いに心の底まで打ち明けて親しくつきあうこと。

(4) 行書で書かれた次の文字を楷書で書いた場合、その画数と同じ画数の漢字をA～Eから一つ選び、記号で答えよ。

維

- A 舞 B 選 C 隠 D 蝶 E 衆

問3 次のA～Eについて、成立の古い順に並んでいるものを一つ選び、記号で答えよ。

- A 土佐日記 ↓ 更級日記 ↓ 方丈記 ↓ 徒然草 ↓ 玉勝間
B 土佐日記 ↓ 徒然草 ↓ 方丈記 ↓ 更級日記 ↓ 玉勝間
C 方丈記 ↓ 更級日記 ↓ 土佐日記 ↓ 玉勝間 ↓ 徒然草
D 徒然草 ↓ 方丈記 ↓ 土佐日記 ↓ 更級日記 ↓ 玉勝間
E 徒然草 ↓ 更級日記 ↓ 土佐日記 ↓ 玉勝間 ↓ 方丈記

第一問題 次の文章を読み、後の問に答えよ。なお、設問の都合上、文章を一部改訂している。

著作権等保護の観点から掲載いたしません

国
語

2
／
10
枚中

(藤田正勝『哲学のヒント』より)

問1 次の問に答えよ。

- (1) 空欄〔 1 〕にあてはまる語句として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。
 A 再点検 B 再起用 C 再現 D 再定義 E 再評価
- (2) 空欄〔 2 〕にあてはまる語句として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。
 A あえて B 必ず C 迅速に D 多量に E 無意識に

(3) 傍線部①「見るためだけに描かれた絵や、見るためだけに刻まれた仏像というのは存在しなかったのです」について、それではどのようなことのために絵や仏像が存在していたというのか。それらに共通する要素を表す七文字の語句を文中から抜き出して答えよ。

(4) 傍線部②「強いて事を作するようなこと」とあるが、本文における意味としてこれにあてはまらないものをA～Eから選び、記号で答えよ。

- A 見るためだけに創作された絵や仏像
 B 個人の泉からは発しない美
 C 自律的な創作
 D 画家自身の個性
 E 個人の自覚

問2 二重傍線部X「しかし、『工人』、あるいは工人が作り出す『工芸』は低い価値しかもたないのか、というのは、問われてよい問題であると思います」とあるが、筆者はなぜこのように思うのだろうか。その理由を次の書き出しに続くように、七十字以上、八十字以内で答えよ。

もともと絵や彫刻は ()

問3 この文章を内容的に三つに分けた場合、二つ目の終わりに当たる文の冒頭五文字を答えよ。

問4 この文章で述べていることとして最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

- A 柳は個人の自覚に基づいた天才の美術を否定し、「無事の美」である「工芸」にしか本当の「美」は存在しないと主張した。
 B 柳が「尋常の美」を持つとした工芸品は、生活において美術を身近なものにするという意図をもって作られた作品である。
 C 柳が生活のなかにあらわれる「尋常の美」としての価値を「工芸」に見出すのは、美について柳独自の理解があったことによる。
 D 個性を際立たせることに価値を置く美術の概念は、柳の「民藝運動」によって、より確かなものとして受け入れられることになった。
 E 美術と芸術との区別が明確になったのは、柳が「民藝運動」を起し、工芸品に価値を認めたことによるといえる。

第三問題 次の文章を読み、後の問に答えよ。なお、設問の都合上、文章を一部改訂している。

著作権等保護の観点から掲載いたしません

国
語

4
/
10
枚中

著作権等保護の観点から掲載いたしません

国
語

5
／
10
枚
中

(青木玉「みの虫」(『帰りたい家』所収)より)

問1 空欄「ア」に入る語として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

- A 「おとうちやま、しつかり」
- B 「おとうちやまはどこへ行くの」
- C 「おとうちやまはどこ」
- D 「誰の布団なの」
- E 「おとうちやまの布団じゃない」

問2 空欄「イ」「ウ」にあてはまる体の一部を表す語をそれぞれ答えよ。

問3 傍線部①「半端な気分」の説明として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

- A 不満
- B 疑念
- C 焦燥
- D 憤怒
- E 困惑

問4 傍線部②「今までの制止」とはどのような内容か。十字以上、二十字以内で答えよ。

問5 傍線部③「そこで向きを変えて布団の包みはそろそろとこちらへ動いて来た」に用いられている修辞法と同じ修辞法が用いられているものをA～Eから一つ選び、記号で答えよ。

- A ここか、犯人が立ち寄ったという店は。
- B 今は、夏目漱石を読んでいます。
- C 忙しくて手が足りない。
- D それは夢のような出来事だった。
- E 空行く雲に旅に出ようと誘われた。

問6 傍線部④「御気分いかがですか」と言いなさいと母に言われたが」とあるが、母親はなぜ娘にそのように言うように命じたと考えられるか。六十字以上、八十字以内で答えよ。

第四問題 次の文章を読み、後の問に答えよ。

この清明あき、ある時、広沢ひろさわの僧正そうじょうの御房ごぼうに参りて物申し承りける間、若き僧どもの清明あにいふやう、「式神しきじんを使ひ給ふなるは、たちまちに人をば殺し給ふや」といひければ、「^①やすくはえ殺さじ。力を入れて殺してん」といふ。「さて虫などをば、少しの事せんに必ず殺しつべし。さて ^②生くるやうを知らねば、罪を得つべければ、^③さやうの事よしなし」といふ程に、庭に蛙の出て来て、五つ六つばかり躍りて池の方さまへ行きけるを、「あれ一つ、「ア」殺し給へ。試みん」と僧のいひければ、「罪を作り給ふ御坊かな。されども試み給へば、殺して見せ ^④奉らん」とて、草の葉を摘み切りて、物を誦むやうにして蛙の方へ投げやりければ、その草の葉の、蛙の上にかかりければ、蛙真平まへらにひしげて死にたりけり。これを見て、僧どもの色変りて、恐ろしと思ひけり。

家の中に人なき折は、この式神しきじんを使ひけるにや、人もなきにまへら部べを上げ下し、門をさしなどしけり。

〔宇治拾遺物語〕

(注) *1 清明……………陰陽師である安倍清明のこと。

*2 広沢の僧正……………宇多天皇の皇子敦実親王の子。真言僧。

*3 部……………格子戸。

問1 空欄「ア」に入る語として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

- A さらでは B さらに C さりとて D されども E さらば

問2 傍線部①「やすくはえ殺さじ」の現代語訳として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

- A 簡単には殺すことができない
 B 簡単に殺してみせよう
 C 簡単には殺すことができないだろう
 D 短時間で殺せるわけではない
 E 時間はかかるが殺すことができるだろう

問3 傍線部②「生くるやうを知らねば」をこの話の中で意味が通るように現代語訳せよ。

- 問4 傍線部③「さやうの事」が示す内容として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。
 A 虫を殺すこと
 B 人や虫を殺すこと
 C 虫ならばかまわないと思うこと
 D 私の力を疑うこと
 E 罪を逃れようとする事

問5 傍線部④「奉らん」の敬意の対象となる人物をA～Eから選び、記号で答えよ。

- A 式神 B 広沢の僧正 C 清明 D 僧たち E 読み手

問6 二重傍線部a～eに「の」のうち、他と品詞の違うものを選び、記号で答えよ。

問7 次の会話文はこの文章を読んだ生徒同士の会話である。空欄Iにあてはまるように十五字以上、二十五字以内で答えよ。

- A 陰陽師の清明の力、恐ろしいというのが第一の感想。
- B でも、この作者は恐ろしさだけで終わらせてないよ。
- A 確かに、式神を使うにしても、留守宅での使い方はほっとする。呪術もこんな使い方なら安心だね。今なら、スマホで遠隔操作ということかな。
- B そうだね。清明が呪術でできたということは、今なら科学の力でできるものもあるかもしれない。
- A なるほど、今、科学の力と言われて思ったんだけど、この話、もしかしたら、清明の術のすごさを言いたいだけでなく、「I」ということを言っていると読めるんじゃないかな。今の私たちの世界の科学の力と同じようにね。
- B 確かに、式神の使い方が対照的だからね。
- A こうしたことって、人間が生み出す全てのものにあてはまるから、こういうことを意識していくのは大事だと思うな。

第五問題 次の文章を読み、後の問に答えよ。なお、設問の関係で返り点・送り仮名・符号を一部省略している。

韓非子曰、楚人^{*1}和氏得^{*2}玉璞^{はくワ}楚山中^ニ、奉^{ジテ}獻^ズ厲^{れい}王^ニ。王使^ム玉人^{*3}相^セ之^ヲ。曰^ク、石也^ト。王以^テ和爲^{シテ}詐^{いつはレリト}而^{シテ}別^ニ其^ノ左足^ヲ。及^ビ武王即位^ニ、和又獻^ズ之^ヲ。王使^ム玉人^{*4}相^セ之^ヲ。曰^ク、石也^ト。王以^テ和爲^{シテ}詐^{いつはレリト}而^{シテ}別^ニ其^ノ左足^ヲ。及^ビ武王即位^ニ、和又獻^ズ之^ヲ。王使^ム玉人^{*5}相^セ之^ヲ。又曰^ク、石也^ト。王又以^テ和爲^{シテ}詐^{レリト}而^{シテ}別^ニ其^ノ右足^ヲ。文王即位^ニ、和乃抱^{キテ}其^ノ璞^ヲ而哭^ニ於^ニ楚山之下^ニ。三日三夜、泣^{ナミダ}尽^{キテ}而繼^{グニ}之^ニ以^テ血^ヲ。王聞^キ之^ヲ、使人問^フ其^ノ故^ヲ。曰^ク、天下^ニ別^{ラルル}者多^シ矣^ナ。子奚^{なんゾ}哭^{スルコト}之^ノ悲^{シキヤト}。和曰^ク、吾非^ズ別^ス也^ナ。悲^{シム}夫^{カノ}宝^ノ玉^{ニシテ}而題^{スルニ}之^ヲ以^テ石^ヲ、貞士^{*6}而名^{ツクルニ}之^ヲ以^テ詐^{リテ}。此^レ吾^ガ所^ニ以^テ悲^{シム}也^ト。王乃使^{メテ}玉人^{*7}理^ル其^ノ璞^ヲ而得^{タリ}宝^ヲ焉^ナ。遂命^{ジテ}曰^ク和氏之璧^ト。

(注) *1 和氏……………人物名。

*2 玉璞……………「璞」は玉になる原石。

*3 玉人……………玉を磨く者。

*4 相……………鑑定する。

*5 別……………足を斬る刑。詐欺罪の者がこの刑罰を受けた。

*6 貞士……………自分の信念を貫く者。

*7 理……………この場合は、玉を磨くこと。

(「蒙求」より)

問1

文中の傍線部について、後の問に答えよ。

(1) 傍線部①の主語は誰か。最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

A 韓非子 B 和氏 C 玉人 D 厲王 E 武王

(2) 次に示す書き下し文に合わせて、傍線部②の文に返り点を全てつけよ。なお、送り仮名は書かなくてよい。

「人をしてその故を問はしめて曰く」

使人問其故曰

(3) 傍線部 a・b の助字の働きは何か。適当なものをA～Eから一つ選び、記号で答えよ。

A 断定 B 詠嘆 C 疑問 D 否定 E 比較

(4) 傍線部③を現代語訳せよ。

問2

この文中で、和氏が泣いたのはなぜか、三十字以上、五十字以内で答えよ。